

# さくら市 議会だより

市民すべてが、  
暮らしやすいと実感できる  
魅力あふれる

「さくら市」を目指して

第3回定例会のあらまし	2
会議結果・賛否の公表	3
総務常任委員会	4
建設経済常任委員会	5
文教厚生常任委員会	5
決算審査特別委員会	6
一般質問ここが聞きたい	7
議会報告会結果報告	9
議会レポート	10
行政視察研修報告	15
どうなったんべあの質問は	16
市民の声・次回の定例会の予定	19
	22
	23
	24



平成 28 年度栃木県・さくら市総合防災訓練（さくら市総合公園）

平成28年第3回定例会が9月2日から9月21日まで開催され、条例2件、予算2件、決算8件、追加議案3件を原案通り可決及び認定し、報告が2件ありました。  
一般質問では6名が登壇し市政を問いました。



# 平成28年 第3回定例会のあらまし

## 平成27年度 会計別決算の概要

※千円以下を四捨五入しているため、差引額に誤差が生じる場合があります。

(単位：円)

会計区分	歳入決算額	歳出決算額	差引額	
一般会計	194億7,050万	176億5,641万	18億1,409万	
特別会計	氏家都市計画事業上阿久津台土地地区画整理事業特別会計	5億676万	3億9,946万	1億730万
	公共下水道事業	11億6,372万	10億7,639万	8,733万
	農業集落排水事業	4,894万	4,475万	419万
	国民健康保険	52億7,467万	50億6,371万	2億1,096万
	後期高齢者医療	3億6,135万	3億5,661万	474万
	介護保険	27億770万	25億8,215万	1億2,555万
特別会計総計	100億6,314万	95億2,307万	5億4,007万	
水道事業	収益的収入	8億2,196万	資本的収入	5億1,231万
	収益的支出	7億1,189万	資本的支出	9億612万

※収益的収入・支出…営業活動に伴う収入と支出 ※資本的収入・支出…水道施設の整備拡充に伴う収入と支出

## 平成28年度 補正予算の概要

(単位：円)

会計区分	補正額	予算総額
一般会計	1億5,010万2千	196億1,395万9千
特別会計	92万8千	50億6,458万4千

### 第3回定例会

上程された  
主な議案

一般会計補正予算  
(第2号)

- 債務負担行為補正  
氏家小学校・押上小学校・上松山小学校・南小学校給食調理業務委託  
2億4,900万円

- 主な歳入補正  
農山漁村振興交付金(国) 2億1,806万円  
農山漁村活性化プロジェクト支援交付金(県) 3億5,000万円  
前年度繰越金 1億1,298万6千円  
総合交流ターミナル施設リニューアル事業債 1億3,190万円

- 主な歳出補正  
地域おこし協力隊員募集事業 200万円  
地域おこし協力隊活動事業 199万6千円



道の駅きつれがわ (イメージ図)

- 子ども子育て支援推進事業 8,395万7千円
- 児童扶養手当支給事業 534万8千円
- 環境保全型農業直接支援対策事業 224万8千円
- 県単かんがい排水事業 2,000万円
- 多面機能支払交付金事業 280万6千円
- 道普請事業 160万円

### 追加議案

(1号) 平成28年度橋梁上部工事(市道K2012号) 請負契約について  
葛城大橋の橋梁上部工事を実施するため、4億4,287万7,200円で工事請負契約を締結するものです。

(2号) 財産の取得について  
道の駅きつれがわ総合交流ターミナルのリニューアルに伴う厨房設備一式について、2,680万5,600円で取得するものです。

(3号) 財産の取得について  
道の駅きつれがわ総合交流ターミナルのリニューアルに伴う什器・備品一式について、3,909万6千円で取得するものです。

# 総務常任委員会

◎石原 孝明・○櫻井 秀美・小菅 哲男・大橋 悦男・角田 憲治・小堀 勇人

# 会議結果・賛否の公表

**A** 文書の運搬、旧喜連川高校統合書庫への文書配置、文書管理システムへのデータ入力などである。

**Q** 文書管理事務費の委託料の内訳は。

**A** 現時点ではわからないが、本年度中に採用する。

**Q** 募集した際の応募見込みは。

**A** SNSと言ったウェブ関係の取り扱いに習熟している等、いくつかの要件を考えている。面接、職歴などを勘案したうえで選抜していく。

**Q** 地方創生推進費で、地域おこし協力隊員2名の採用を予定しているが、選定要件は。

平成28年度さくら市一般会計補正予算(第2号)〔所管分〕



道の駅きつれがわりリニューアル工事現場



早乙女桜並木復旧工事現場

## 現地調査

- 早乙女桜並木
- 葛城大橋
- 道の駅きつれがわり

# 建設経済常任委員会

◎渋井 康男・○加藤 朋子・笹沼 昭司・永井 孝叔・鈴木 恒充・手塚 定

**A** さくら市の市営住宅入居戸数は約320戸であり、費用の面から見て指定管理者制度の導入は難しいと思われる。

**Q** 公営住宅維持管理事業を、指定管理者制度で対応している自治体もあるが、さくら市の考えは。

**A** 当初予算時は、県を経由する補助金として事業に対する最大の補助額で申請していたが、その後、県を経由せずに国庫補助金としての交付となった。また補助額については、国の精査により補助対象事業費の上限が決定されたことによる。

**Q** 総合交流ターミナル施設リニューアル事業の補助金内定予算化の経緯は。

平成28年度さくら市一般会計補正予算(第2号)〔所管分〕



道普請事業実施後(さくら那須モータースクール南側)



道普請事業実施後(喜連川寿町)

**A** 喜連川地区の寿町と、クール南側である。

**Q** 道普請事業の実施地区2件はどこか。

※議長(永井孝叔)は採決に加わりません。(○…賛成、●…反対、欠…欠席)

## 平成28年 第3回定例会

議案等番号	件名	議決結果	議決日	合計		大河原千晶	岡村 浩雅	櫻井 秀美	笹沼 昭司	石原 孝明	福田 克之	小菅 哲男	加藤 朋子	永井 孝叔	若見 孝信	大橋 悦男	石岡 祐二	渋井 康男	鈴木 恒充	角田 憲治	手塚 定	小堀 勇人	矢澤 功	
				賛成	反対																			
条例	1 さくら市国民健康保険条例の一部改正について	可決	9月2日	17	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	2 さくら市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する条例の一部改正について	可決	9月2日	17	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
補正予算	3 平成28年度さくら市一般会計補正予算(第2号)	可決	9月21日	17	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	4 平成28年度さくら市国民健康保険特別会計補正予算(第1号)	可決	9月21日	17	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
決算	5 平成27年度さくら市一般会計決算の認定について	認定	9月21日	17	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	6 平成27年度氏家都市計画事業上阿久津台地区画整理事業特別会計決算の認定について	認定	9月21日	17	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	7 平成27年度さくら市公共下水道事業特別会計決算の認定について	認定	9月21日	17	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	8 平成27年度さくら市農業集落排水事業特別会計決算の認定について	認定	9月21日	17	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	9 平成27年度さくら市国民健康保険特別会計決算の認定について	認定	9月21日	17	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	10 平成27年度さくら市後期高齢者医療特別会計決算の認定について	認定	9月21日	17	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	11 平成27年度さくら市介護保険特別会計決算の認定について	認定	9月21日	17	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	12 平成27年度さくら市水道事業会計剰余金の処分及び決算の認定について	認定	9月21日	17	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	追加1	平成28年度橋梁上部工事(市道K2012号)請負契約について	可決	9月2日	17	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	追加2	財産の取得について(2ページ参照)	可決	9月2日	14	3	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	追加3	財産の取得について(2ページ参照)	可決	9月21日	16	1	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	追加議員案1	「川の日を国民の祝日に定めること」を求める意見書の提出について	可決	9月21日	17	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

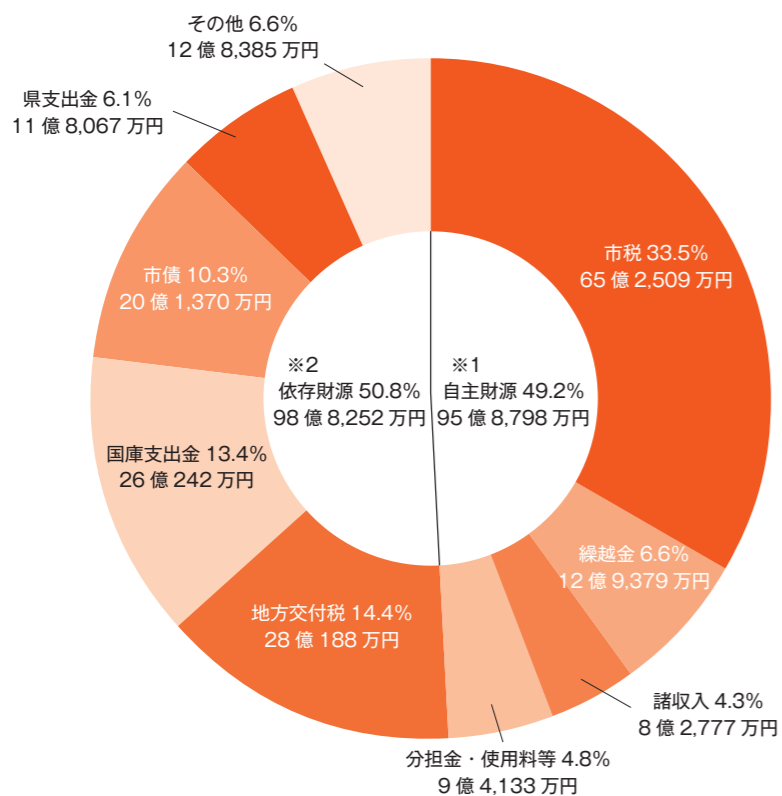
報告	1 一般財団法人さくら市観光施設管理協会経営状況説明書の提出について
	2 平成27年度健全化判断比率及び資金不足比率について

## 請願・陳情審議結果

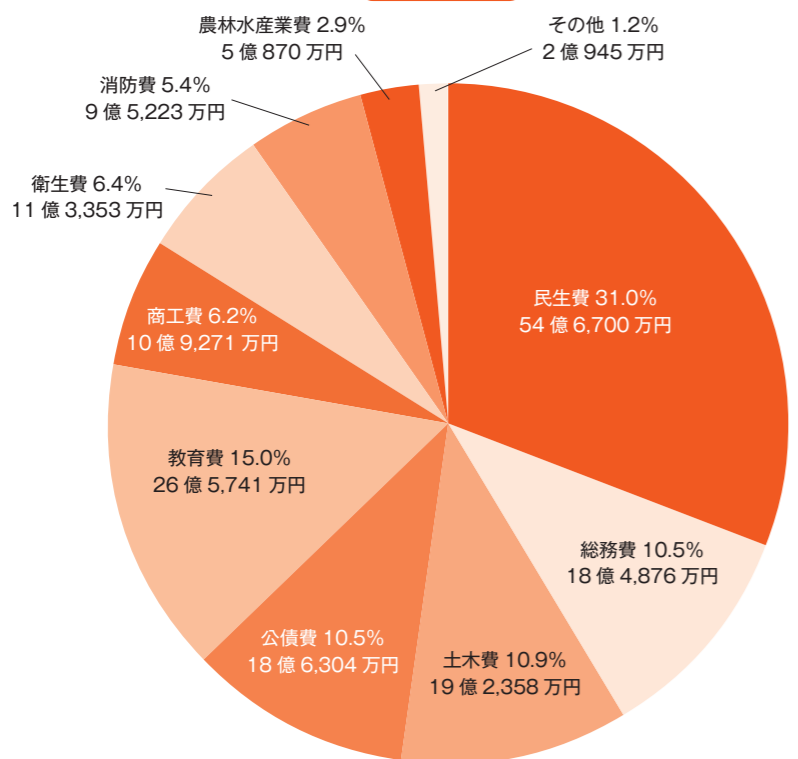
区分	件名	提出者	審査委員会	本会議結果
陳情第6号	「川の日を国民の祝日に定めること」を求める意見書に関する陳情書	壬生町幸町2丁目28番4号 川の日を国民の祝日にしよう会 会長 桑原史朗	総務常任委員会	採択 全会一致

平成27年度一般会計決算の状況

歳入 194億7,050万円



歳出 176億5,641万円



決算審査特別委員会が9月7日から9日の3日間、議場において委員全員出席のもと、委員長に手塚 定委員、副委員長に渋井 康男委員が就任し、開催されました。付託となった議案は審査が終了した時点で、議案ごとに採決いたしました。質疑内容は、紙面の関係上、一部のみを掲載いたします。

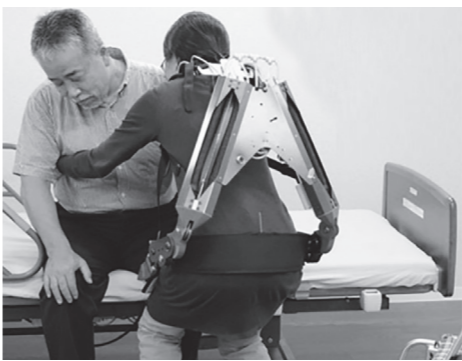
平成28年度さくら市一般会計補正予算(第2号)「所管分」

**Q** 児童扶養手当の対象者は何人か。

**A** 8月現在で、対象は350世帯、そのうち第1子350人、第2子140人、第3子以降が30人の合計520人である。

**Q** 地域介護・福祉空間整備推進交付金の対象となる介護ロボット導入の事業者と台数は。

**A** デイサービス事業者が2台整備する。



腰補助用介護ロボット(イメージ) 出展:(公財)テクノエイド協会HP内「介護ロボット等機器情報」

**Q** 学校の非常勤講師活用事業の臨時講師配置の理由は。

**A** 補正の費用は2名分で、4か月分の非常勤講師の配置費用である。一人は、南小学校の特別支援学級への配置、もう一人は喜連川小学校の普通学級へ、両校とも現在のスタッフでは限界があるため、非常勤講師を配置するものである。

平成28年度さくら市国民健康保険特別会計補正予算(第1号)「所管分」

**Q** システム開発費等補助金は、平成30年度の国保広域化に向けた準備に係るものと考えられるが、平成30年度に広域化はどうなるのか。

**A** 国では、保険税額・税率の一律化を進めているが、市町ごとに格差があり現状では困難な状況にある。平成30年度からは、県が財政運営の主体となり、市町に対して、その運営状況から標準税率と納付金額が示される。市町は、従前同様、保険証の資格管理

現地調査

- 押上小学校
- 龍澤家住宅(鐵竹堂)
- 桜ふれあいの郷
- 南小児童保育センター
- たいよう保育園
- あおぞら保育園
- 鬼怒川運動公園
- グラウンド・ゴルフ場



龍澤家住宅(鐵竹堂) 利活用事業



たいよう保育園



桜ふれあいの郷



押上小学校

一般会計決算  
『実質収支は黒字』

・歳入決算額	194億7,050万円
・歳出決算額	176億5,641万円
・差引額	18億1,409万円
・翌年度への繰越財源	4億2,108万円
・実質収支額	13億9,301万円

6つの特別会計決算合計  
(企業会計を除く)

・歳入決算額	100億6,314万円
・歳出決算額	95億2,307万円
・差引額	5億4,007万円
・翌年度への繰越財源	3,134万円
・実質収支額	5億873万円

一般会計と6つの特別  
会計の決算合計差引額

・差引額	23億5,416万円
・翌年度への繰越財源	4億5,242万円
・実質収支額	19億174万円

水道事業会計決算

【収益的収支】	
・収入決算額	8億2,196万円
・支出決算額	7億1,189万円
・差引額	1億1,007万円
【資本的収支】	
・収入決算額	5億1,231万円
・支出決算額	9億612万円
・差引額	▲3億9,381万円
(差引額の不足分は、過年度分損益勘定留保資金、当年度分損益勘定留保資金で補填)	

**Q** 子どものインフルエンザ予防接種事業の接種予定数と執行率の低い理由は、

**A** 接種対象者は、1回目が6,795人、2回目が5,470人である。執行率が低いのは、予算計上の際、過去の助成自治体の接種率を参考としたが、本市では低い接種率となったため。



一般会計と6つの特別  
会計の決算合計差引額

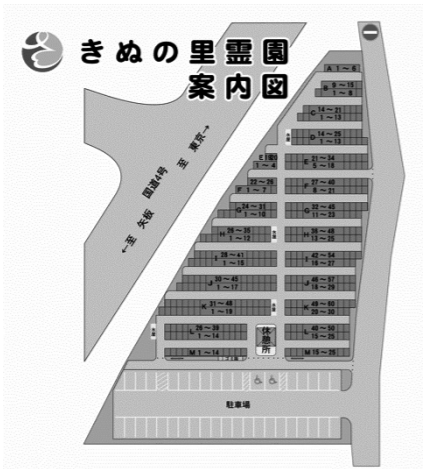
・差引額	23億5,416万円
・翌年度への繰越財源	4億5,242万円
・実質収支額	19億174万円

水道事業会計決算

【収益的収支】	
・収入決算額	8億2,196万円
・支出決算額	7億1,189万円
・差引額	1億1,007万円
【資本的収支】	
・収入決算額	5億1,231万円
・支出決算額	9億612万円
・差引額	▲3億9,381万円
(差引額の不足分は、過年度分損益勘定留保資金、当年度分損益勘定留保資金で補填)	

**Q** きめの里霊園の販売状況は、

**A** 全体の480区画中、公募を開始した平成26年度に177区画、平成27年度39区画、合計216区画の使用許可をしている。



**Q** 利用状況調査推進事業で、遊休農地の実数と今後の方策は、

**A** 平成27年度は農地面積5,356haに対し、遊休農地は24,95haで、今後は、利用状況調査の結果、遊休農地の所有者に、利用意向調査を行い、調査結果の内容によって進めていく。

**Q** 交通安全施設整備管理事業の予算は、新設・修繕をどのくらいを見込んでいたのか。

**A** カーブミラーの新規17件、修繕14件、路面標示1,600mを過去の申請件数等で見込んだ。平成27年度の実績は、新設6件、修繕8件、路面標示が28.4mであった。



カーブミラー新設

**Q** さくらブランド認証事業の認証数の目標と年度計画は、

**A** 平成27年度は、14品目の応募があったが、審査会の結果、採用がなかった。毎年1回審査会を開催し、多くの商品がさくらブランドとして採用されればと考えている。

**Q** 木造住宅耐震診断事業の対象世帯数と利用が進まない理由は、

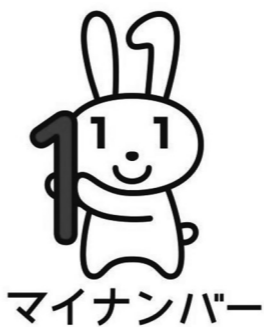
**A** 住宅総数約1万5,220戸のうち、耐震改修を必要とする住宅戸数は、約2,930戸と推計される。利用が進まないのは、耐震改修を行わないで、建て替えを選択する場合と、耐震改修、建て替えに多額の費用がかかることで、計画を先送りしているためと思われる。

**Q** 生活路線バス補助事業の対前年に対する減額の理由は、

**A** フイオーレ線、馬頭線ともに燃料費の軽油単価の下落によるもの。

**Q** マイナンバー制度導入事業の予算執行率の低い理由とマイナンバー交付への影響は、

**A** 執行率の低い理由は、国の運用テストが本年7月にずれ込み、平成28年度に繰越明許としたため。交付の影響は、本事業はシステムの改修と機能強化に向けての対策であり、カードの交付自体には影響がない。



**Q** 自治公民館事業の実績と執行率の低かった理由は、

**A** 実績については、12回の講座と公民館まつり等のイベントを開催した。執行率が低いのは、だまえ学び塾に登録されたボランティア講師の活用と、公民館職員が講師対応することができたため。

**Q** 国民健康保険特別会計の単年度収支が赤字の理由は、

**A** 国保税の税率改正、少子高齢化等の影響による被保険者の減少による保険料収の減収と、国から支出される療養給付費等負担金などが精算により前年度超過交付となり、返還金が発生したため。



福田 克之  
議員

その他の質問

さくら市障がい福祉計画について

さくら市見守り福祉ネットワーク  
推進事業について

より重層的な見守りネットの構築を図っています

**Q** 現在までの本市の見守り組み状況は。

**A** 「高齢者等見守り活動に関する協定」を警察や消防、市内の新聞販売店や牛乳配達店等の事業所等と締結し、高齢者等の異変に気付いた場合、速やかに市に連絡する体制づくりを進めている。

**A** 地域で社会的保護を必要とする人を見守るため、できるだけ多くの見守りネットを張り巡らせ、見守り活動に関する協定事業所をさらに増やすなど、より重層的な見守りネットの構築を図っていく。

**Q** 人員配置における事業継続、事業内容との整合性について。

**A** 各所属において、事業の優先度に応じた取捨選択等により、限られた人的資源を最大限活用し、本市の重点課題の解決に向けての取り組みを行っている。

業務のほか、選挙、統計調査、記念事業等の短期的に業務増が見込まれる所属への配置を基本としている。

**Q** 国、県、民間企業等との人事交流の考えは。

**A** 企業誘致や道の駅きつれがわりリニューアル計画における支援業務等のように、民間企業から当該分野に精通した人材を派遣してもらい、当分の間は力を借りて、併せて人事交流等により人材育成を進めていく。

**Q** 地域担当職員配置の考えは。

**A** 地域の自主性の尊重、行政事務協力員制度の趣旨、市政運営のバランス等考慮し、まずは、制度の課題把握や情報収集に努める。



見守り隊ステッカー

**Q** 今後の公共機関等との協力的体制と取り組みについて。

**A** フルタイム勤務は、原則としてこれまで培った知識や経験を生かせる所属への配置をする。短時間勤務は、施設管理

**Q** 再任用職員の配置根拠は。

**A** 企業誘致や道の駅きつれがわりリニューアル計画における支援業務等のように、民間企業から当該分野に精通した人材を派遣してもらい、当分の間は力を借りて、併せて人事交流等により人材育成を進めていく。



若見 孝信  
議員

その他の質問

人口減少とコンパクトシティについて

子育ての女性に対する支援について

各種子育て支援策の更なる充実

**Q** 本市の合計特殊出生率をどう評価しているか。

**A** さくら市の平成20年から24年の5カ年間平均の合計特殊出生率は1.63で、単年度では平成24年が1.69、平成25年が1.57、平成26年が1.71となっており、平成26年で比較すると、栃木県内1位を維持し、栃木県全体での1.46を大きく上回っている。きぬの里等へのファミリー層の転入者が多いためである。しかしながら、人口減少に歯止めをかけるため

には、女性1人あたり2.07人が必要である。

**Q** 本市において厚生労働省の基準に基づく「待機児童」は何名か。

**A** 4月1日時点で、1歳児4名、3歳児2名の計6名となっている。また入園できる保育園があっても、入園せず空を待つ児童を「隠れ待機児童」という。本市では、1園のみを希望し、空を待っている2歳児が1名、第3希望まで希望し、空を待っている1歳児が1名の計2名となっている。

**Q** 本市で図書館や公民館など生涯学習施設において、子育て中の女性が託児サービスなどを気軽に利用できる取り組みはあるか。

**A** 図書館では、乳幼児を積極的に受け入れる「赤ちゃんタイム」の時間帯を設け、子育て中の保護者が気軽に来館できる環境を提供している。また図書館に向かなくとも受けられるサービスとして、読み聞かせ機能付きの動く絵本や、画像の浮き出る3D図鑑など幅広い分野の電子書籍の

提供をしている。

公民館で行うイベントでは、毎年8月に、各種体験等を通して夏の思い出を提供する「家族フェスタ」を行い、子育て中の女性に配慮した授乳室機能を兼ね備えた部屋を設置し、安心して参加できるよう支援を行っている。



あかちゃんタイム案内ポスター  
(市内図書館)



赤ちゃんほっとスペース(家族フェスタ開催時)



岡村 浩雅 議員

### 食品ロス削減について

今後も循環型社会の形成を推進する

**Q** 本市の家庭系可燃ごみにおける食品残渣（生ごみ）の割合及び排出量、削減への取り組みは。

**A** 平成27年度の市民ひとり1日当たりの家庭系可燃ごみ量は、約481グラムで、生ごみは約50グラム。処理には、約50円がかかる。生ごみは約70%が水分なので、生ごみ処理機やコンポスト容器の購入に対する補助金を交付している。今後も循環型社会の形成を推進する。

**Q** 学校給食における食品残渣の排出量及び削減への取り組みについて。

**A** 市内給食施設合計は、昨年度1年間で約34,700kg、処分料金が112万円。児童生徒1人あたり年間約8.8kg、処分費用が284円。（野菜のへたなど、残菜も含）主に小学校で、給食開始10分間は集中し食事をすする「10（いちまる）運動」もぐもぐタイム」を実践。それでも残渣になるものは、堆肥化处理する業者と契約、リサイクルしている。

### その他の質問

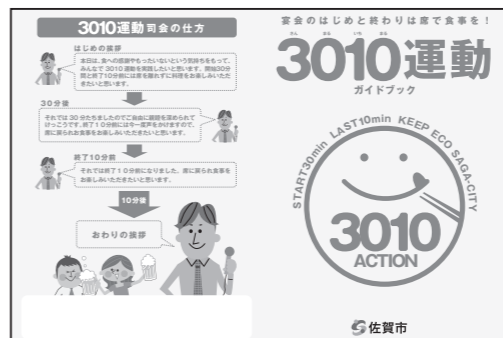
第24回参議院通常選挙総括及び今後の各種選挙に向けて

**Q** 食品ロス削減目標の策定について。

**A** 国において、平成26年7月に食品リサイクル法の見直しを行い、新たな基本方針が策定された。それらを参考にしながら市町村への目標と方向性が示された段階で設定する。

**Q** 3010（さんまるいちまる）運動の推進について。

**A** 各種イベントや広報紙等を利用し、市民や事業者等へこの運動を積極的に啓発していく。



3010（さんまるいちまる）運動

**Q** 国土強靱化地域計画及び被災者支援について。

**A** 本年度より検討をはじめ、今後の策定に向けて取り組んでいく。

**Q** 被災者支援システム及び導入について。

**A** 今秋導入の「避難行動要支援者システム」が、「被災者支援システム」と同等の利用が見込める為、今後の災害対応に積極的に活用していきたい。

### ※スマートコミュニティへの取り組みを

環境基本計画に基づきエネルギーの活用を推進している

**Q** 次世代に向けてスマートコミュニティ導入を考えていくべきと思うが。

**A** 現在、国においては、経済産業省や総務省により推進している。また栃木県においても省エネルギーや再生可能エネルギーの導入拡大、電力自給率の向上を目標として、その実現に向けた取り組みの一つとしてスマートコミュニティの構築を目指している。さくら市は、環境基本計画に基づき、省エネ

ギーの推進、及び再生可能エネルギーの活用を明記し、市の環境にあったエネルギーの活用を推進している。具体的には、松島地区において太陽光発電設備を全世帯へ導入し、住宅での電力自給率が約50%となり大きな成果を上げている。また市内の事業所では、耕作放棄地でイネ科の植物のエリアンサを栽培し、それを原料としてバイオマスペレットを製造し、もとゆ温泉にペレットボイラー設置を進めている。



エリアンサス（ペレットの原料）

**Q** 自転車の交通安全対策、特に中学生の登下校時の安全対策は。

**A** 毎朝の中学生の登校時に交通指導員による「立哨指導」、また原則毎週水曜日に、教職員が通学路に立ち、現地で直接指導を行っている。また高齢者に力を入れ交通安全指導員による啓発活動も行っている。今後、新たな取り組みとして、交通安全推進委員会と、校長会の代表も加わり、登下校時のマナーアップに重点を置いた啓発活動を実施する予定である。



交通安全教室（氏家中学校）



加藤 朋子 議員

※スマートコミュニティ

地域に適した再生エネルギーを効果的に作り、蓄電しながら需要に応じて賢く使うまちづくりです。



大河原 千晶 議員

一般質問 ここが聞きたい

### 当初予算、補正予算について

将来の世代に負担を残さない予算編成に取り組み

**Q** 当初予算及び補正予算要求にあたり、どのような方法が取られるのか。

**A** 各所属は11月上旬までに予算要求システムに入力、11月から12月に一次査定のアリリング、12月下旬には副市長、総務部長による二次査定を行い、内示を各課に通知する。その後、各所属予算の復活要望後二次査定の市長査定により、当初予算が決定する。

当初予算の編成では、歳入歳出の乖離が約27億

円あったが、健全な財政運営や将来の世代に負担を残さない予算編成に取り組んでいる。

補正予算については当初予算成立後に発生した事由により、執行が困難になった場合に編成するが、基本は当初予算編成と同様である。

### 市内小中学校の現状について

**Q** 市内の小中学校から中学校への進学状況で、学区を超えた進学特例は認められているか。

**A** さくら市小中学校就学指定学校変更及び区域外就学の許可に関する要綱で定められている。許可基準として、市内転居、留守家庭、家庭事情、地理的理由、身体的理由、特別支援学級入級、特色ある教育活動、指定学校変更児童の中学入学、指定学校変更児童生徒の兄弟、いじめや不登校による教育的な配慮が必要な場合等がある。

**Q** 認められる場合協議はどのようにされているか、またどの程度把握しているか。

**A** 毎月行われている教育委員会定例会で審議している。またこの審議に関しては、個人情報のため⑧事項として取り扱われ、秘密会で審議されている。

**Q** 氏家中学校と喜連川中学校の特色は。

**A** 氏家中学校は県内1番のマンモス校で、運動部活動の全国大会出場が多い中学校である。喜連川中学校は、小中一貫的な教育をしている。



櫻井 秀美 議員

一般質問 ここが聞きたい

### グローバル化に対応した英語教育改革と国際バカロレアについて

学級担任の研修の強化とALT配置の拡大

**Q** 20年の新学習指導要領実施に向けての英語指導教員の確保は。

**A** 現在7名のALTを各学校1人、大規模校に複数配置するほか、小学校英語教育推進リーダーの加配や小学校学級担任の英語指導力向上のための養成研修の実施等を行っている。

**Q** グローバル化に対応した英語教育と合わせて、PYPから始める国際バカロレアの提唱する指導方法を取り入れた教育実践を進める考えは。

**A** 次世代を担う子供たちの教育環境の整備のため、これから取り組んでいく。

### さくら市自然環境と再生エネルギー発電設備設置事業との調和に関する許可条例について

**Q** 太陽光施設により、観光の拠点として景観を損なう場合が想定され、許可条例をつくって対応する必要があると思ふが。

**A** 景観にそぐわないものも出てくると思われるので、景観条例の策定の中で検討していく。

### さくら市が土地賃貸契約している状況について

**Q** 平成27年第2回の一般質問で、この土地賃貸借契約の状況を確認し、84件、約2,800万円あることが判明したが、その後の改善状況は。

**A** 平成27年度末では件数で3件の減、金額で253万円の増となっている。

### 喜連川地区の観光拠点とネットワークについて

**Q** 道の駅きつれがわの工事に伴う手続きは。

**A** 4月1日付で財産処分報告申請を行い、関東農政局に受理してもらい、その後の工事等については、支障を来たすことはない。

**Q** 回遊性を持たせた観光拠点とのネットワークのあり方は。

**A** にぎわいと回遊性を持たせるために、今後取り組んでいく。

※国際バカロレア

国際バカロレア機構(本部ジュネーブ)が進める世界共通の大学入試資格とそれにつながる小、中、高校生の教育プログラムで、「多文化に対応する理解と尊敬を通して、平和でより良い世界の表現のために貢献する、探求心、知識、思いやりのある若者育成を目的」とした教育になっている。

※PYP

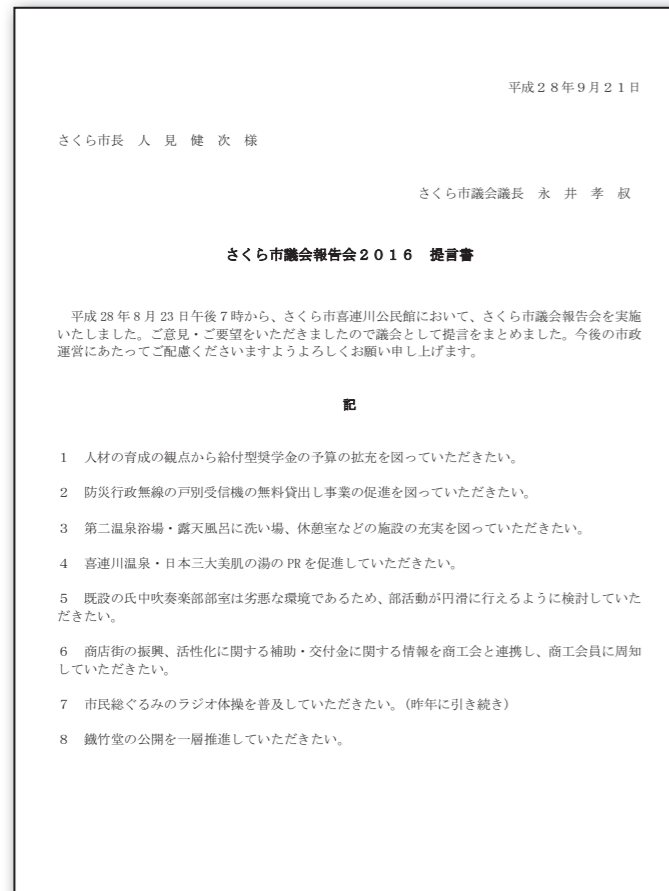
プライマリー、イヤーズ、プログラムの略。3つの教育プログラムのうちの、初等教育プログラムで3歳から12歳までが対象。探求する人としての基礎教育、そのために必要な知力、体力、精神力のバランスが取れた人間になることをめざし、6つのテーマを柱とした教育融合型の教育。2015年11月現在、世界で1,327校。



## 提言書の提出

平成 28 年 9 月 21 日 (水)

市民から寄せられた声を市政に反映させるよう、市長へ提言書の提出を行いました。

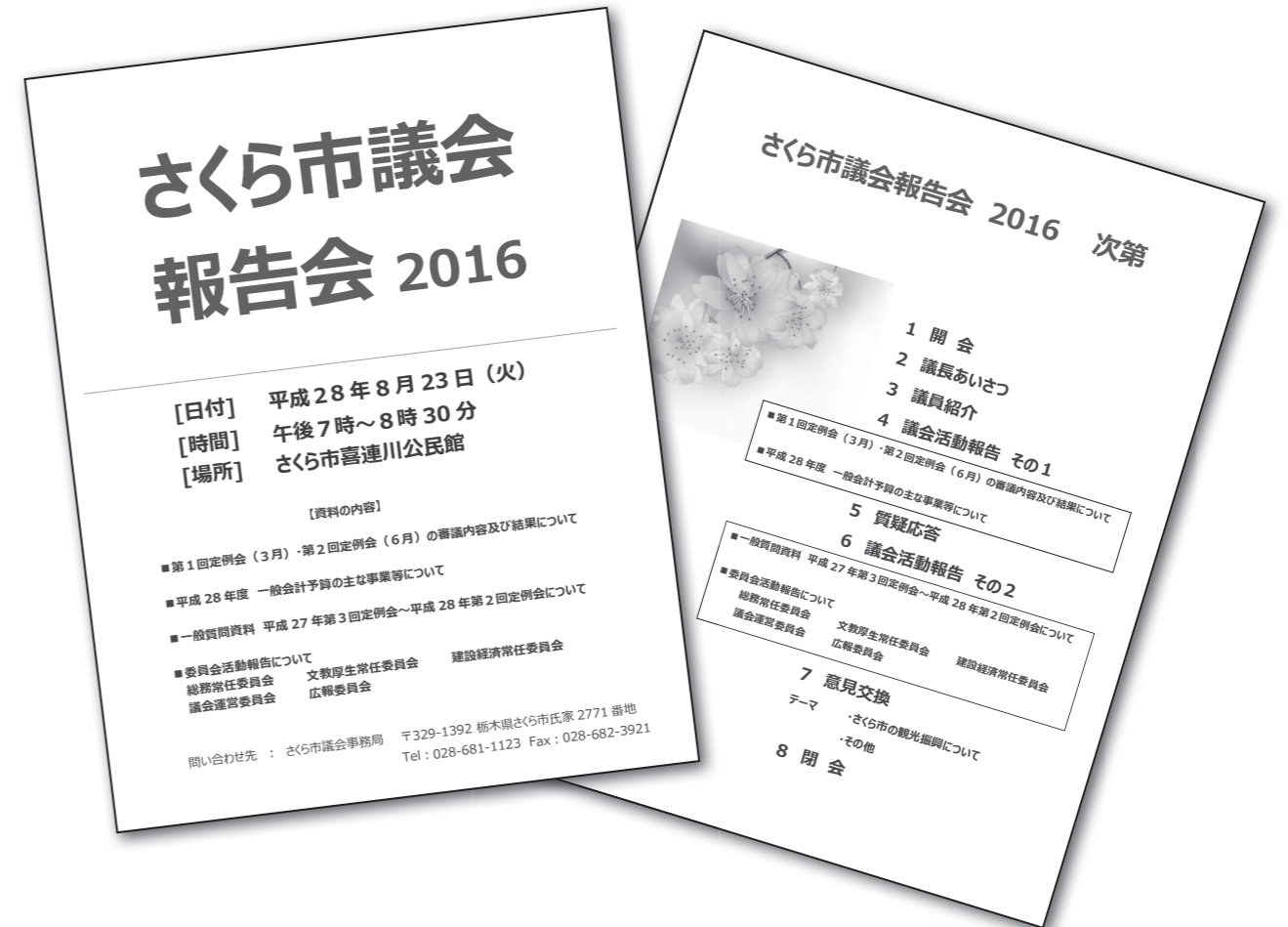


## さくら市議会報告会を開催

57名の方に参加いただきました。

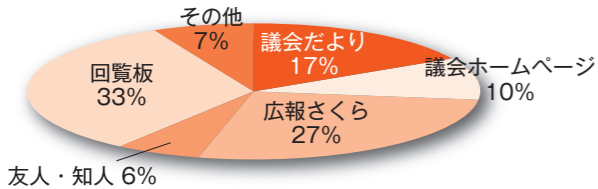
平成 28 年 8 月 23 日 (火)

喜連川公民館にて「議会報告会2016」を開催いたしました。

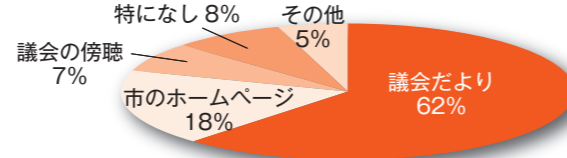


## アンケートの結果

議会報告会の情報入手先 (複数回答)



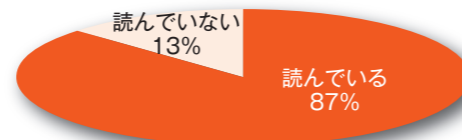
議会の情報入手先 (複数回答)



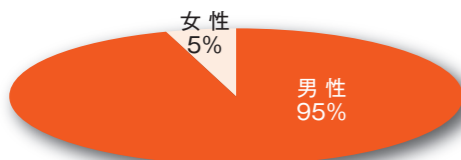
議会報告会の満足感



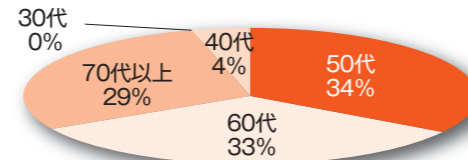
議会だよりを読んでいるか



来場者の性別



来場者の年代



○北海道苫小牧市  
「まちなか再生総合プロジェクト事業」について

○北海道苫小牧市  
「まちなか再生総合プロジェクト事業」について

○北海道苫小牧市  
「まちなか再生総合プロジェクト事業」について

●平成28年  
7月19日、20日、21日

**視察先**

- 北海道苫小牧市
- 北海道千歳市
- 北海道洞爺湖町

**研修内容**

- まちなか再生総合プロジェクト事業（CAP）について
- 「防災学習交流センター・そなえくる」について
- 防災・減災への取り組みについて



研修風景（苫小牧市）

研修しました。  
苫小牧市では、中心市街地の空洞化に歯止めをかけるため、  
・にぎわいの創出  
・公共交通の利便性  
・まちなか居住の推進の3つの柱を軸に、事業を進めています。これにより、交通弱者の移動確保、居住環境整備、各種イベントの開催や住民が散策・利用できる施設の整備が図られました。  
働く世代の居住を促し、高齢者には住みやすい場所を提供する、これからのまちづくり事業の手法として参考になりました。

○北海道千歳市  
千歳市を視察し、「防災学習交流センター・そなえくる」について研修しました。

千歳市では国の補助制度を利用し、平成22年に同センターを開館しました。市民・ボランティア・防災関係機関が連携し、防災学習や防災訓練等を実施することで互いの理解を深めるほか、防災学習・災害模擬体験を通じ、自助や共助、公助について学び、防災に対する関心・意識づけを図っています。

また、市内に148ある町内会の73%が自主防災組織を立ち上げてお



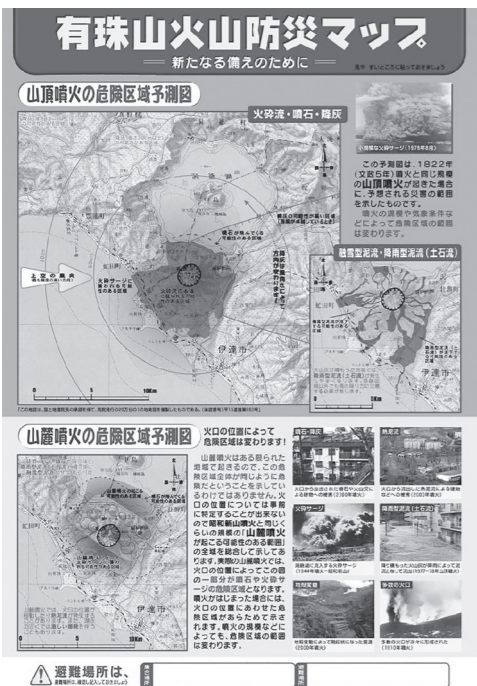
地震体験（千歳市）

○北海道洞爺湖町  
洞爺湖町を視察し、防災・減災への取り組みについて研修しました。

洞爺湖町は、30年周期で有珠山の噴火災害を経験、また山間部を多く抱え沿岸部にも隣接することから、噴火・土砂・津波対策といった総合的な取り組みを実施しています。

「地域住民との深いコミュニケーションが防災体制の基本」と捉えており、ハード面の整備はもとより、各種防災マップを作成より実践的な避難訓練に力をいれています。

人口減少、少子高齢化を迎える全国の自治体を取り組むべき方向性、また災害に対する備えや対応など、さくら市と行くべき事業の参考となる、大変貴重で有意義な視察研修となりました。



避難場所は、

塩谷市町村議長会議  
平成28年7月8日  
9月29日

塩谷管内市町（矢板・塩谷・さくら・高根沢）で開催する議長会議へ出席し、情報交換を行いました。

また、県内の市議会議員に対して実施される研修会に参加しました。

県北五市（大田原・矢板・那須塩原・さくら・那須烏山）で構成する議長会議を開催し、情報交換を行いました。

県北五市議長会議  
平成28年8月26日

県内市議会で開催する議長会議へ出席し、情報交換を行いました。

また、県内の市議会議員に対して実施される研修会に参加しました。



県北五市議長会議（さくら市）

○民生委員推薦会（委員選出）  
8月18日  
・笹沼 昭司 議員  
・鈴木 恒充 議員

○決算審査  
7月19日・20日・22日  
・鈴木 恒充 議員

○全国都市監査委員会総会  
8月25日・26日  
・鈴木 恒充 議員

○例月現金出納検査  
8月29日、9月26日  
・鈴木 恒充 議員

**議会の動き**

7月	1日 議会報告会検討委員会 議会広報委員会	18日 さくら市民生委員推薦会 開会式
2日 議会報告会検討委員会 議会広報委員会	20日 第12回さくら市学童ナイター野球大会	
3日 議会報告会検討委員会 議会広報委員会	22日 議会運営委員会 議員全員協議会	
4日 議会報告会検討委員会 議会広報委員会	23日 議会報告会2016 議会広報委員会	
5日 議会報告会検討委員会 議会広報委員会	25日 全国都市監査委員会総会（26日まで） 県北五市議長会議	
6日 議会報告会検討委員会 議会広報委員会	26日 県北五市議長会議 塩谷広域行政組合同議会臨時会	
7日 議会報告会検討委員会 議会広報委員会	28日 塩谷広域行政組合同議会臨時会 例月出納検査	
8日 議会報告会検討委員会 議会広報委員会	29日 例月出納検査	
9日 議会報告会検討委員会 議会広報委員会		
10日 議会報告会検討委員会 議会広報委員会		
11日 議会報告会検討委員会 議会広報委員会		
12日 議会報告会検討委員会 議会広報委員会		
13日 議会報告会検討委員会 議会広報委員会		
14日 議会報告会検討委員会 議会広報委員会		
15日 議会報告会検討委員会 議会広報委員会		
16日 議会報告会検討委員会 議会広報委員会		
17日 議会報告会検討委員会 議会広報委員会		
18日 議会報告会検討委員会 議会広報委員会		
19日 議会報告会検討委員会 議会広報委員会		
20日 議会報告会検討委員会 議会広報委員会		
21日 議会報告会検討委員会 議会広報委員会		
22日 議会報告会検討委員会 議会広報委員会		
23日 議会報告会検討委員会 議会広報委員会		
24日 議会報告会検討委員会 議会広報委員会		
25日 議会報告会検討委員会 議会広報委員会		
26日 議会報告会検討委員会 議会広報委員会		
27日 議会報告会検討委員会 議会広報委員会		
28日 議会報告会検討委員会 議会広報委員会		
29日 議会報告会検討委員会 議会広報委員会		

期日

平成28年  
7月12日、13日、14日

視察先

- 高知県高知市
- 広島県福山市
- 山口県宇部市

研修内容

- 中心市街地活性化の取り組みについて
- 里山里地の再生・保全事業について
- うべふるさとツーリズム創出事業について

建設経済常任委員会は、平成28年7月12日、14日の3日間の日程で、県外行政視察研修を行いました。

● 高知県高知市  
高知市の中心市街地は、大規模スーパーが撤退したの境に空き店舗が急速に増加し、市街地



中央市街地 ひろめ市場商店街（高知市）

の人口も著しく減少してきました。そのため「高知中心市街地活性化基本計画」を策定し、1. 中心市街地居住人口の減少、2. 魅力低下に伴う来街者の減少、3. 賑わい（回遊）の低下を解消するため、国、県、市、民間、学生など様々な主体が実施する、51の事業が登載されています。

● 広島県福山市

里山里地の荒廃が進んだ福山市では、農地、森林所有者、農林業者だけでなく市民、NPO、企業、大学、各種活動団体、地域団体との協働と行政支援のもと「里山里地の再生・保全活動支援事業」が行われています。草刈、枝打ちなどの保全活動にかかる経費の支援、「里山里地協力隊」を募り、地域再生に取り組みでもらう制度、また都市部の人々との交流促進やイベント等があります。

● 山口県宇部市

宇部市では、うべふるさとツーリズム創出事業として、各種体験ツアー「うべ探検博覧会」や、夏休み子ども向けイベント「キッズうべたん」があり多くの市民が参加しています。また、企業とタイアップした炭鉱ツアー等産業観光バスツアーも人気で、当事者しか知らない裏話

など、自らの体験を織り交ぜた案内や、文献資料に基づく豊富な話題等が人気で、リピーターが続出しています。

また、市内の農水産物、市内で加工した製品を「うべ元気ブランド」として認証、育成、販売促進していく制度で、現在24業者、47品目が登録されています。認証されると、販路拡大のための展示会出展や広告宣伝費補助、機械器具等の整備費補助が受けられ、食品などは学校給食に導入されます。



うべ元気ブランド（宇部市）



里山里地事業（福山市）

期日

平成28年  
7月25日、26日

視察先

- 新潟県新潟市議会
- 福島県会津若松市議会

研修内容

● 議会の運営に関する事項の調査について

議会運営委員会は、7月25日から26日にかけて行政視察研修を行いました。

● 新潟県新潟市議会

新潟市議会の「新潟市議会基本条例」は、制定されるまでに平成21年7月の検討会設置から30回の検討会を実施し、平成23年3月に制定されました。

議会改革を進めるための特徴的な運営では、「新潟市議会基本条例」



研修風景（新潟市）

が制定されたと同時に、市民により身近で開かれた議会を実現するため、改革に取り組む推進組織として、「議会改革推進会議」を設置し、進めています。

● 福島県会津若松市議会

会津若松市議会の「会津若松市議会基本条例」は、条例を策定する際の委員会に、市民委員を公募、延べ19回の検討会を開催、大学教授のセミナー、先進地の先進事例講演会、市民との意見交換会などを実施し、平成20年6月に制定されました。

特徴的な機能として、市民の声をより聞こえるよう広聴機能を組み込んだ、「広報広聴委員会」を設置しました。また、意見交換会は、地区ごとに決められたテーマの意見交換会と業種や団体別ごとの意見交換会を実施しているところです。

両市とも市民意見をどれだけ施策に反映できるか、市民の負託にどれだけ応えられるか、に重点を置いた議会運営を行うなど、議員の積極的な取組姿勢が感じられました。



会津若松市役所



議会からの政策形成（会津若松市議会編集）



研修風景（会津若松市）

においても、視察事例も含めさらに調査、研究し反映していきたいと思えます。

議員が行った一般質問は、市政にどのように反映しているのでしょうか。これまでの質問の中から取り上げて、その後の状況をお知らせします。

## 「地方創生～婚活（結婚支援）」について

### 以前は…

市町村合併前は結婚相談所を設け、仲人に対し、成功慰労金を支払う報償金制度や、(特に農業後継者の結婚支援対策等として) 農業委員会としての結婚相談対策等が取り組まれていた。

しかし、個人情報保護法が制定され、仲人として登録された人に、市として個人情報を提供することが困難となり、一方で、民間での紹介所事業などが出てきたことなどから、合併後にその制度は廃止。

そのため、合併後、この10年は市としては結婚支援については、特別の取組みはしていなかった。



### 現在は…

さくら市では、平成27年度に国の地方創生交付金(137万1千円)を活用した「結婚トータルサポート事業」により、平成27年12月20日と平成28年2月14日の2回、婚活イベントを実施。男性参加者は市内在住を条件とし、20代～40代の男女約40名が参加。2回とも11組のカップルが成立し、成立割合は50%を超えた。

開催に当たっては市内スポットを開催場所として利用することで、参加者にさくら市の良さを実感してもらいたい。

成立したカップルに対しアフターフォローなどが現状では難しいことが課題であるが、あくまでも「出会いの場」の提供、出会いサポートという側面を担っていき、結婚支援、ひいては将来を担う子どもの数を増やしていく。

平成28年度は交付金対象外であるが、昨年同様2回の婚活イベントを予定している。

全国でも同様の事業を展開しているが、さくら市独自の事業となるか今後も注目していきたい。



婚活イベントチラシ(平成28年度実施予定)

### 「議会だより」の配置場所

ご自由にご覧ください

- さくら市役所本庁舎
- 氏家・喜連川保健センター
- 和い話し広場
- 喜連川支所
- さくら市ミュージアム 荒井寛方記念館
- 氏家福祉センター
- 卯の里庁舎
- e プラザ壱番館
- 喜連川社会福祉センター
- 氏家・喜連川公民館
- 道の駅きつれがわ
- 氏家・上松山・喜連川児童センター
- 氏家・喜連川体育館
- 市営もとゆ温泉
- 氏家・喜連川図書館
- 市営露天風呂

期  
日

平成28年  
8月1日

視  
察  
先

● 栃木県高根沢町

研  
修  
内  
容

● 本会議での動画配信について

ユーチューブにアップロードするまでの一連の作業及び議会広報誌への動画視聴用のQRコードの作成方法などを学びました。

ユーチューブとは、グーグル社の運営する世界最大の動画共有サービスです。動画の投稿にはグーグルアカウントの登録が必要になるが、公開されている動画の視聴は、パソコン、スマートフォン、タブレットなどがあれば誰でも可能である。

り、動画の投稿・閲覧ともに原則として無料で利用できます。

ユーチューブを導入することのメリットとして、パソコンだけでなく個人での所有率が高いスマートフォンでも視聴できる点があり、また、経費がかからない点が挙げられます。

デメリットとしては、24時間続けて作業したとしても、一般質問者9人として約5日を要すること。また動画配信作業はパソコン1台ですべて行わなくてはならないため、効率が悪いことです。

リアルタイムでの配信は他のソフトを使用しない限り不可能です。また、編集作業にフリーソフトを使用するため、セキュリティに問題がある、といった点が挙げられます。

実際の動画編集作業では、ほとんどが議会事務局職員による作業となることから、使用するパソコン、フリーソフトのセキュリティ問題、事務局職員の人件費、議場カメラのアップグレードの問題等が今後の検討課題です。

したがって、まずは9月度定例会の一般質問で試作し、問題点を改善しながら来年3月度定例会からの本格導入を目指したいと考えています。



研修風景



議場録画システムの見学

# 市民の

# の

# 声



ナチュラルカントリイライフは宝物！



那須 美輝 (大野東)

さくら市に住んで8年、名古屋出身の私にとって自然豊かで田園風景広がるさくら市は毎日が新鮮な驚きと感動でした。風になびく麦畑、空が広く月が大きい、蛙の合唱、水田に映る雲、稲藁の巨大なロールケーキ、鷲や虫やオニヤンマ、時には猛禽類に遭遇…あげたらきりがありません。店も多く駐車場は無料、保育園も広々。この素晴らしい環境で子ども達がのびのび育っていることは宝物です。今年、有難いご縁で勝山に植物とガーデン&手作り雑貨の店を開店。手作り体験や苔玉、グリーンインテリア

ア作りも楽しんで頂いています。お客様からは県北や宇都宮からも来やすい中間点のさくら市は集まりやすい場所ではないかと聞かれます。自然豊かで人が優しく便利なナチュラル&カントリイタウンさくら市。まだまだ素敵なカントリイライフを満喫したいです。



ワークショップ

## お知らせ

### 一般質問の自粛について

永井議長・笹沼副議長は議会の円滑な進行のため、また、石岡議会運営委員長・鈴木監査委員は立场上、議案・事業内容を細かく審議できるため、申し合わせにより一般質問を自粛しています。

### 議員年金について

地方議会議員年金制度は、昨今の厳しい年金財政の状況を踏まえ、平成23年6月1日をもって廃止されました。

### 政務活動費について

さくら市議会に「政務活動費」はありません。

## 次回 12月定例会予定

11月28日(月)～12月9日(金)

\*正式な日程は、後日開催する議会運営委員会にて決定しますのでご了承ください。

下記でもお知らせしています。



さくら市ホームページ



さくら市公式フェイスブック



さくら市公式ツイッター



広報さくら



とちぎテレビデータ放送



RADIO BERRY (FM 栃木)



### 議会広報委員会

- ◎ 笹沼 昭司 加藤 朋子
- 岡村 浩雅 石岡 祐二
- 大河原 千晶 渋井 康男
- 櫻井 秀美 角田 憲治
- 石原 孝明

### 編集後記

日本美術院が主催運営する日本画の公募展「第71回春の院展 栃木展」がさくら市ミュージアム荒井寛方記念館で10月1日～11月6日まで開催されています。本展開催は昨年に続き2回目、日本を代表する院展の公募展が荒井寛方の縁により同記念館で開催され、身近に触れられることはさくら市の誇りでもあります。今回はさくら市出身の窪井裕美さんの入選作も展示されます。秋深まるなか日本画を堪能してみてください。(櫻井秀美)



さくら市議会だより No.47

発行日 平成28年11月1日  
発行 さくら市議会  
編集 議会広報委員会

〒329-1392 栃木県さくら市氏家2771  
TEL 028-681-1123 FAX 028-682-3921  
MAIL gikai@city.tochigi-sakura.lg.jp